

鹿角河川漁業協同組合植樹祭に参加しました。

H30 年 10 月 4 日（木）

周りの木々も少しずつ色づきはじめ、心地よい秋空のもと署員 5 名で植樹祭に参加しました。

この植樹祭は毎年鹿角市河川漁業協同組合が鹿角市の牧草地跡を森林に戻すという取り組みで、平成 20 年から行っていて今年で 10 回目となりました。一緒に参加した鹿角市立大湯小学校の 5 年生 24 名と一緒に、今年はサクラとブナを合わせて 700 本植えました。

牧草地跡は、背丈の高い牧草とびっしりと張った根が残っていることが多く、また、長年家畜に踏み固められているため、周りの森林から樹木が入りにくく、元の森林に戻るには長い時間がかかります。このように、自然の力に頼るだけでなく、土を掻き起こし、木の苗を植えることはより早く森林の再生につながります。数十年後には、春にはサクラの花が楽しめて、秋にはブナの紅葉が楽しめる森林になることでしょう。さらに、木々が作り出す栄養が雨水とともに沢や川に流れ込み、鹿角市だけではなく、下流や海にも栄養が流れ込み、一帯に豊かな漁場を作りだしてくれることと思います。

今後も、米代東部署はこのようなイベントを通して、森林・林業の指導及び普及に努めてまいります。



1. 開会式



2. 植樹の様子



3. 植樹の様子



4. 植樹後の全員での記念写真